

ROTARY CASING DRILL SR2000



SUMITOMO

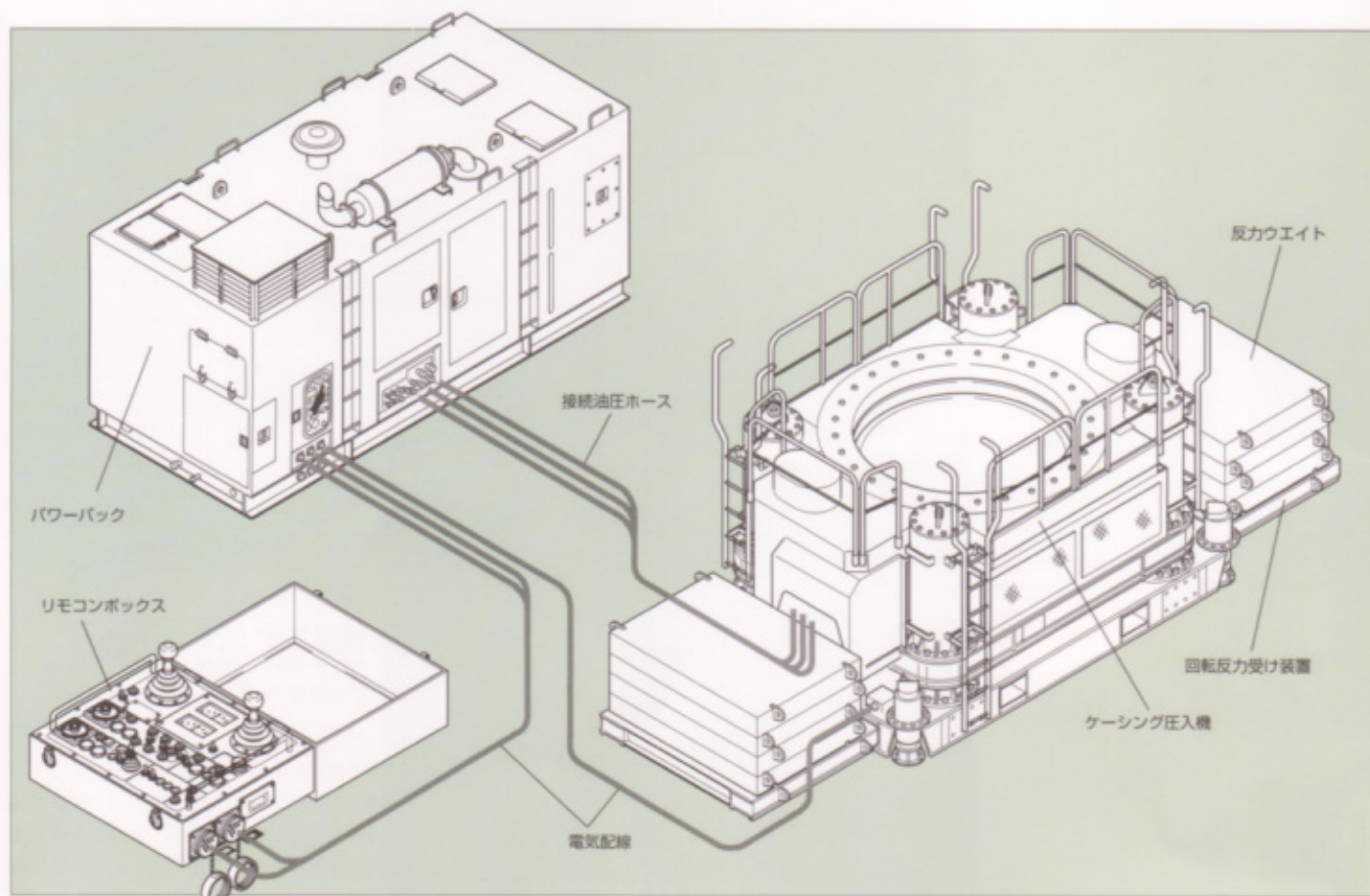
オールケーシング工法や障害撤

回転式ケーシング圧入機(定置式)

SR2000

本機は、オールケーシング工法および障害撤去工法が効率よく安全に施工できる回転式ケーシング圧入機です。

構成は、掘削装置・回転反力受け装置・パワーバック・操作板より成り、全油圧駆動としてチャックスペーサの取付けにより口径φ1,000mm～φ2,000mmの掘削が可能です。



掘削工法を効率よく、安全に。

運転操作がしやすい。

アウトリガジャッキの操作は2本のモノレバースイッチにて操作できるため、ケーシングの垂直出しが簡単です。また、操作盤には大きな傾斜計があり、本体の水平(ケーシングの垂直)が容易に確認できます。

掘削能力が大きい。

このクラス最大の回転トルクと、高・中・低速と3速の回転数により、地盤やケーシング口径に合わせた最適な掘削ができます。また、ケーシング引抜きおよびストロークもクラス最大であり、引抜(上昇)スピードも高・低速と選択できるため、効率のよい作業ができます。

壁際からの杭芯寸法が小さい。

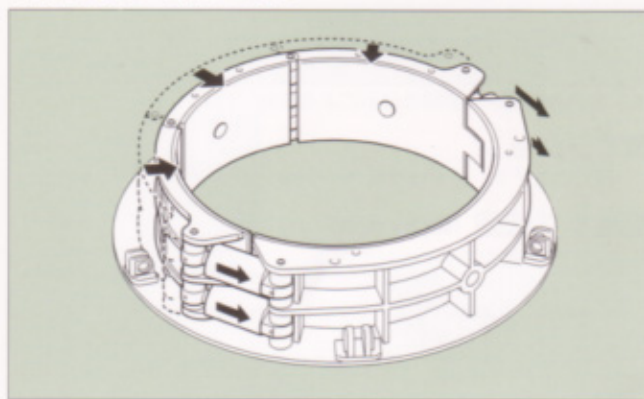
圧入機本体からの幅寸法が小さいため、壁際での施工が容易にできます。

地盤状況に応じた掘削方法が選択できる。

圧入掘削、自重掘削、自重制御掘削と3通りの掘削方法が選択できるため、地盤状況に適した掘削方法により、効率のよい作業ができます。

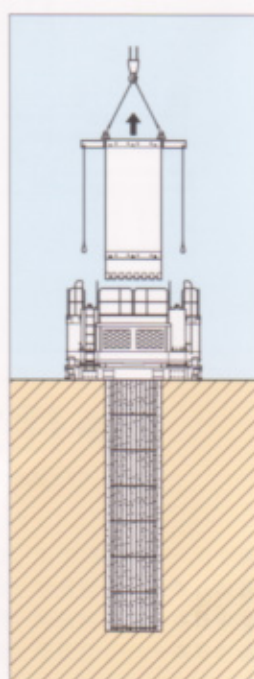
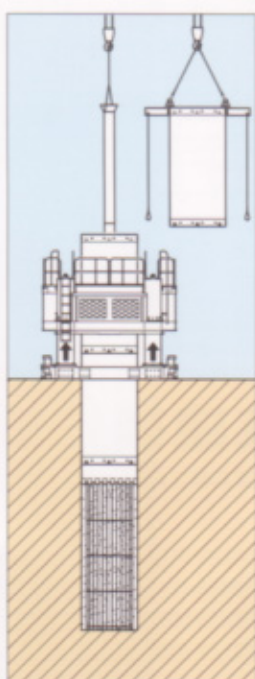
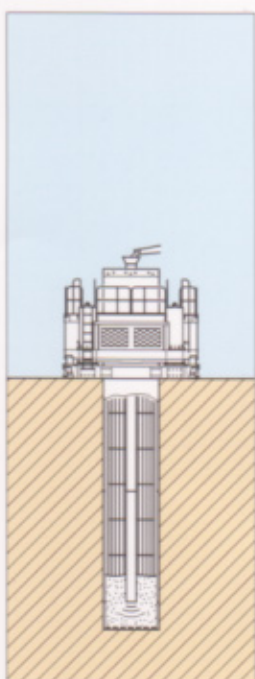
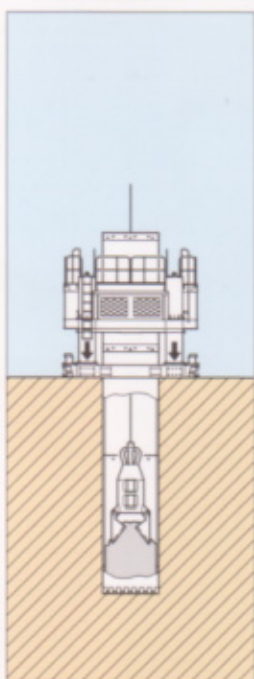
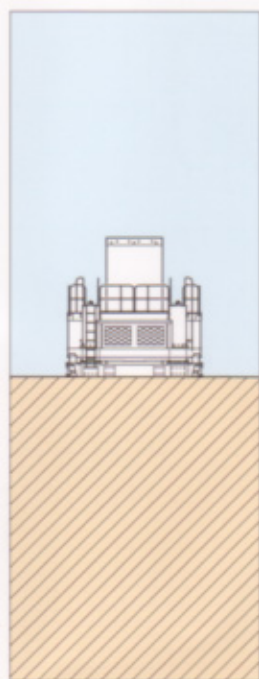
チャック装置はバンド式で360°どの位置でもチャック可能。

ケーシングとの密着性のよい4分割のバンド式チャック装置で、360°任意の位置でチャック動作(開閉)が可能です。



施工手順

- ①地盤整地、軟鉄板敷設後、杭芯に機械をセットし、アウトリガジャッキにて垂直度を出す。
- ②ケーシングチューブを回転させながら圧入し、ハンマーグラブで掘削、ケーシングを継ぎ足しながら所定の深さまで掘削する。
- ③鉄筋かご、トレミー管を挿入した後、生コン打設を行う。
- ④ケーシングチューブを回転させながら1ストロークずつ引抜きを繰り返す。
- ⑤ケーシングチューブが地中から完全に引抜ければ引抜き完了。



■主要仕様

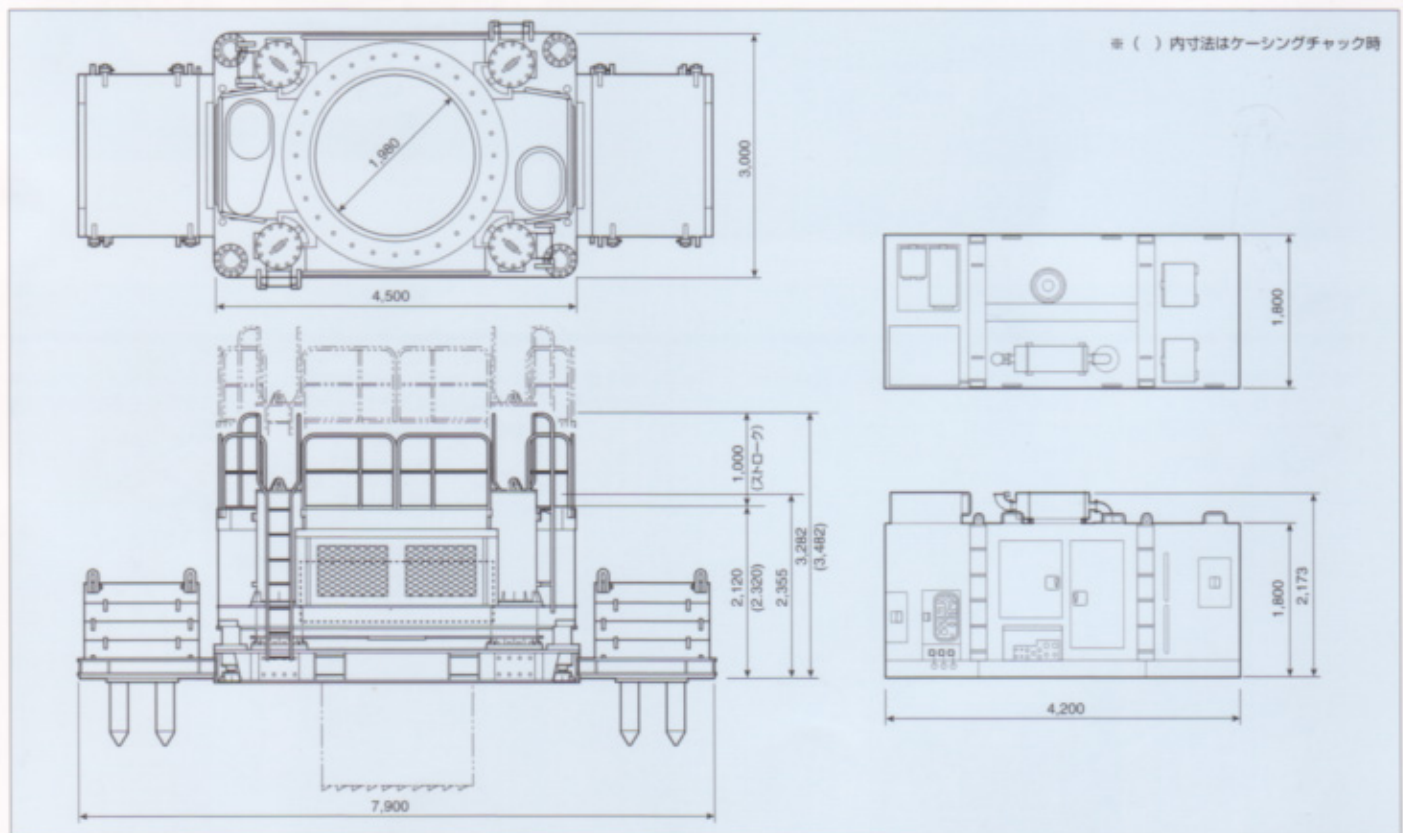
本 体		回転式ケーシング圧入機SR2000
名 称・形 式		回転式ケーシング圧入機SR2000
適 用 掘 削 口 径	mm	1,000~2,000
最 大 回 転 ト ル ク	KN-m[tf-m]	568/1,019/2,049 [58/104/209]
最 大 回 転 数	min ⁻¹ [rpm]	2.5/1.6/0.8
ケーシング引抜力	KN[tf]	2,490 [254]
ケーシング圧入力	KN[tf]	490 [50]
ケーシング引抜ストローク	mm	1,000
ケーシング引抜スピード	mm/min	高速1,180/低速1,900
駆 動 方 式		全油圧駆動
チャック装置		四分割バンド式
寸法(全長×全幅×全高)	mm	4,500×3,000×2,355
本体質量(反力ウエイト除く)	t	35.4
パワーバック		三菱6D22-Tディーゼルエンジン
エンジン名称		三菱6D22-Tディーゼルエンジン
エンジン定格出力	kW/min ⁻¹ [PS/rpm]	169/1,800 [230/1,800]
燃料タンク容量	ℓ	500
作動油タンク容量	ℓ	800
寸法(全長×全幅×全高)	mm	4,200/1,800/2,173
本 体 質 量	kg	約7,500
制御装置		リモコン式(有線)
操 作 方 法		リモコン式(有線)
寸法(全長×全幅×全高)	mm	445×375×281
総 質 量	kg	約14

注1.本表の単位は、国際単位系によるSI単位表示、[]内は従来の単位表示を併記したものです。

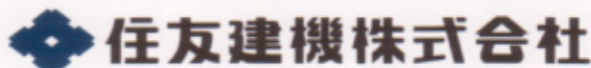
■オプション

反力ウエイト チャックスペーサ(φ1,800、φ1,600、φ1,500、φ1,300、φ1,200、φ1,100、φ1,000)

■基本寸法図(単位:mm)



※カタログの仕様は設計変更その他の理由により予告なく変更することがあります。



本社/〒135-0053 東京都江東区辰巳 3-5-3(サンイースト辰巳)
TEL(03)5569-2357

お問合せは



- クレーン事業本部 TEL(0562)48-5173 □ オペレータの養成・資格取得のご相談は
- 東日本クレーン営業部 TEL(03)5569-2333 ● 千葉技術研修所 TEL(043)420-1549
- 中日本クレーン営業部 TEL(06)6555-8601 ● 名古屋技術研修所 TEL(0566)35-1311
- 西日本クレーン営業部 TEL(092)504-6288